

問1 東南アジアなどの低緯度地域における気候の特色について、北半球に位置する都市で見られる気温の変化を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 秋田県公立入試 類似)

- 年間を通して気温が高いが、北半球の夏季にあたる時期に気温のピークが見られる山型の推移となる。
- 低緯度では太陽の影響が一定であるため、1月から12月まで気温の変化が全く見られない水平な推移となる。
- 北半球の冬季にあたる1月前後に気温が最も高くなり、7月に最も低くなる谷型の推移となる。
- 海洋の影響を強く受けるため、北半球であっても8月ではなく2月に最も気温が高くなる推移となる。

問2 北半球の高緯度地域に位置し、冬の気温がマイナス20度を下回るような厳しい環境にある気候帯の景観について、その植生の特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

- 寒さに強い針葉樹が密生し、雪が積もりやすい環境に適応した円錐形の樹形を持つ森林が広がっている。
- 一年中気温が高く雨が多いため、背の高い広葉樹が多層にわたって茂る密林が形成されている。
- 短い夏の間だけ地表の氷が解け、わずかにコケ類や地衣類が生育するものの、樹木は見られない。
- 夏季の降水量が少ないため、乾燥に強い背の低い草が広がる草原地帯となっている。

問3 ロンドンなど的高緯度に位置する都市で見られる、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響により、緯度のわりには冬の寒さが厳しくなく、一年を通して降水量の差が少ない気候を何といいますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)

- 西岸海洋性気候
- 地中海性気候
- 冷帯湿潤気候
- ツンドラ気候

問4 フランスのパリ付近など、高緯度に位置しながらも冬の気温が極端に下がらず、一年を通して穏やかな気候になる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 鹿児島公立入試 類似)

- 暖流の北大西洋海流の上を吹き、温かい空気を運んでくる偏西風の影響を受けるため
- 寒流のカリフォルニア海流の影響で、夏でも気温が上がらず一定に保たれるため
- 季節によって風向きが逆転する季節風が、夏に海から湿った空気を運んでくるため
- 赤道付近で発生した上昇気流が、年間を通じて安定した多量の雨を降らせるため

問5 アフリカ北部からアラビア半島にかけて広がる地域において、羊や「らくだ」が伝統的な生活の中で重要な食料源として重宝されてきた理由として、環境面から説明したものと最も適切なものを選びなさい。 (2024年 山口公立入試 類似)

- わずかな草や水でも生きられる耐性があり、水資源の乏しい過酷な環境下でも肉や乳を供給できるから。
- 広大な森林地帯での移動に適しており、野生の木の实や果実を効率よく採取するための動力となるから。
- これらの家畜は大規模な灌漑設備を用いた企業的牧畜において、最も輸出効率が良い品種であるから。
- 冷帯のような寒冷な気候において、体温を維持するために必要な厚い脂肪分を最も蓄えやすいから。

問6 西アジアに位置するサウジアラビアには、イスラム教徒が礼拝の際に必ずその方角を向く、宗教上最も重要とされる聖地があります。この都市の名称を次の中から選びなさい。 (2024年 山梨公立入試 類似)

- メッカ
- エルサレム
- パチカン
- イスタンブル

問7 熱帯地方で行われている焼畑農業において、数年間イモ類などの作物を栽培した後に、別の場所へ移動して同様の作業を繰り返す理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 島根公立入試 類似)

- 燃やした草木の灰に含まれる肥料分が消費され、土地が痩せて収穫量が減少するため。
- バナナやカカオなどの輸出用商品作物を大規模に栽培するために、より広大な土地が必要となるため。
- 季節ごとの降水量の変化が激しく、雨季と乾季に合わせて灌漑施設がある場所へ移動する必要があるため。
- 家畜の飼料となる牧草を確保するために、元の森林を永久的な放牧地へと転換し続ける必要があるため。

問8 ユーラシア大陸の気候分布を模式的に示した際、緯度40度付近にある高山気候の北側に位置し、さらに北にある緯度60度付近の冷帯(亜寒帯)よりも南側に広がる気候帯に見られる特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山公立入試 類似)

- 降水量が極めて少なく、広大な砂漠やステップが分布している。
- 一年を通じて温暖で、落葉広葉樹の森林が広がっている。
- 冬の寒さが厳しく、タイガと呼ばれる針葉樹林が広がっている。
- 一年中気温が低く、地中の永久凍土が夏にだけ溶けて苔類が生える。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 年間を通して気温が高いが、北半球の夏季にあたる時期に気温のピークが見られる山型の推移となる。	熱帯に近い低緯度地域では、四季の変化は不明瞭ですが、厳密には太陽の動きに伴う気温の変化が存在します。北半球にある都市の場合、日本の夏と同じ7月・8月頃に気温が最も高くなるため、気温の変化をグラフ化すると中央が盛り上がった「山型」になります。これに対し、南半球の都市では1月や12月に気温が高くなるため、対照的な動きを示します。
問2	<b>答え 1</b> 寒さに強い針葉樹が密生し、雪が積もりやすい環境に適応した円錐形の樹形を持つ森林が広がっている。	亜寒帯（冷帯）で見られる針葉樹は、厳しい寒さに耐えるための構造を持っています。特に、雪が枝に積もって折れるのを防ぐために、上に向かって細くなる円錐形の樹形をしているのが特徴的です。これに対し、樹木が全く育たない景観は寒帯のツンドラ、多層の密林は熱帯雨林、乾燥した草原はステップやサバナの説明です。
問3	<b>答え 1</b> 西岸海洋性気候	北緯50度を超える高緯度であっても、暖流である北大西洋海流の上を吹く偏西風が暖かい空気を運んでくるため、冬の気温が下がりにくいのが特徴です。年間の気温の差（年較差）も小さく、穏やかな気候となります。
問4	<b>答え 1</b> 暖流の北大西洋海流の上を吹き、暖かい空気を運んでくる偏西風の影響を受けるため	西岸海洋性気候が緯度のわりに温暖である背景には、2つの大きな要因があります。1つは、低緯度から暖かい水を運ぶ暖流である北大西洋海流が沿岸を流れていること。もう1つは、その暖流の上を通して温められた空気を、一年中吹く偏西風が大陸へと運び込むことです。この仕組みにより、冬の寒さが和らげられています。
問5	<b>答え 1</b> わずかな草や水でも生きられる耐性があり、水資源の乏しい過酷な環境下でも肉や乳を供給できるから。	乾燥帯は年間降水量が蒸発量より少なく、農業に利用できる水が極めて限られています。そのため、大量の水を必要とする牛などの飼育は難しく、乏しい植生でも生き抜く力が強い羊や羊驼が選ばれてきました。人々はこれらの家畜と共に水場や草地を求めて移動（遊牧）することで、厳しい自然環境の中でも安定してタンパク質や脂質などの栄養を得る工夫をしてきました。
問6	<b>答え 1</b> メッカ	サウジアラビアのメッカはイスラム教の創始者ムハンマドの生誕地であり、世界中の信者が礼拝の対象とする最大の聖地です。イスラム教徒は一日に数回、どこにいてもこの都市の方角を向いて祈りを捧げるため、信仰生活において欠かせない場所となっています。
問7	<b>答え 1</b> 燃やした草木の灰に含まれる肥料分が消費され、土地が痩せて収穫量が減少するため。	焼畑農業は、化学肥料を用いずに灰の養分のみで頼る農法であるため、栽培を続けるとすぐに土壌の肥沃度が低下します。そのため、収穫量が落ちた段階で別の未開墾地へ移動し、元の土地は数十年かけて森林が再生するのを待つという仕組みになっています。近年では人口増加により、この回復サイクルが短くなっていることが環境上の課題となっています。
問8	<b>答え 1</b> 降水量が極めて少なく、広大な砂漠やステップが分布している。	大陸内部の緯度40度から60度の間には、海からの湿った空気が届きにくい影響で、乾燥帯が形成される場所があります。この地域では樹木が育つほどの降水量がないため、砂漠や短い草の生える草原（ステップ）という独特な景観が作られます。